










下肢静脈瘤抜去切除術 入院診療計画書

予定入院期間： 入院病棟：
 患者さんのお名前

傷病名① 傷病名②
 担当医 副担当医
 看護師 薬剤師 管理栄養士

症状 事前検査による異常所見
 患部の自覚症状
 (疼痛 腫脹)

退院調整担当

日付	入院まで	入院日（手術当日）	手術前	手術後	1日目以降退院日
患者さんの目標	疾患、手術について理解し、手術を不安なくむかえることができる。		術後合併症がなく経過する（感染兆候がない）。術後の安静の必要性を理解できる。		退院後の日常生活の注意点を理解できる。
治療処置	常に服用している薬があれば、医師か看護師に申し出てください。血液が固まりにくくなる薬や糖尿病の薬などを飲んでいる方は必ず申し出てください。	服薬については医師の指示に従ってください。	 手術前に点滴をします。	 必要時、薬が出ます	抜去します。
注射	爪切りをしてください		必要な場合は手術部位の足の付け根の除毛をします。	時間ごとの検温をします  酸素吸入や心電図モニターを装着します 	回診時ガーゼ交換があります。  術翌日に退院する方は外来へ1～2回通院してください。表面上糸が見えない方法の場合は抜糸は不要です。 
検査	指示により検査があります。 	アレルギーの確認を行います。			
食事		手術当日は朝から絶飲食となります。	朝から絶飲食となります 	術後、夕食から食事可能、飲水制限なしです。 	
清潔	入浴できます 	髭剃り、歯磨きをします		口の中の清潔が保たれるよう観察します。	体を拭きます。  次回の再診まで入浴不可です。
排泄		トイレへ行けます 	手術前に済ませます	必要時、尿の管が入ります。術後1時間後に問題なければ、トイレ可能となり、抜きます。 	
活動安静度		制限はありません（病院内自由です）		術後問題なければ、室内のトイレのみ歩行可能です。 	歩行が安定していれば制限はありません。 問題がなければ退院となります。
説明指導		入院・手術後の経過について説明をします 		家族に医師より説明をします。 	退院後の日常生活について説明します。
看護				痛みが強い場合は我慢せず知らせてください。麻酔がさめてから看護師が付き添い歩行します。無理なくリハビリ足首の運動を行ってください。	手術翌朝より弾性ストッキングを装着します。ガーゼ交換を行います。
栄養褥瘡自立度	・特別な栄養管理の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ・褥瘡の有無 現在 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし 過去 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ・日常生活自立度 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 準寝たきり <input type="checkbox"/> 寝たきり		■診療費概算(医事課) ●1割負担で30,000円前後、2割負担で60,000円前後、3割負担で80,000円前後です。 ※上記はあくまでも概算となっており、実際に行った診療内容や日数の増減によって金額が変わることがあります。 ●医療費が高額になった場合、「限度額適用認定証」をご利用いただくことで、窓口での支払負担が既定の金額で済みます。 所得により限度額は異なりますので、ご加入の保険者で手続きされる際にご確認ください。 ※認定証は申請した月より適応となりますので手続きはお早目をお願いいたします。なお、同意をいただければオンライン資格確認にて限度額の即日確認が可能です。 ●福祉医療を受けておられる方は健康保険分の診療費はありません。 ●食事代は個人負担となります。（所得により負担額は異なります）		

上記のとおり説明を受けました

年 月 日

患者本人署名

親族または代理人署名

続柄



①PATIENTIDC032①PATIENTSELECTEDSECTIONCODESYSAT@SSTME710001 @USERIDPATIENTWARCODE